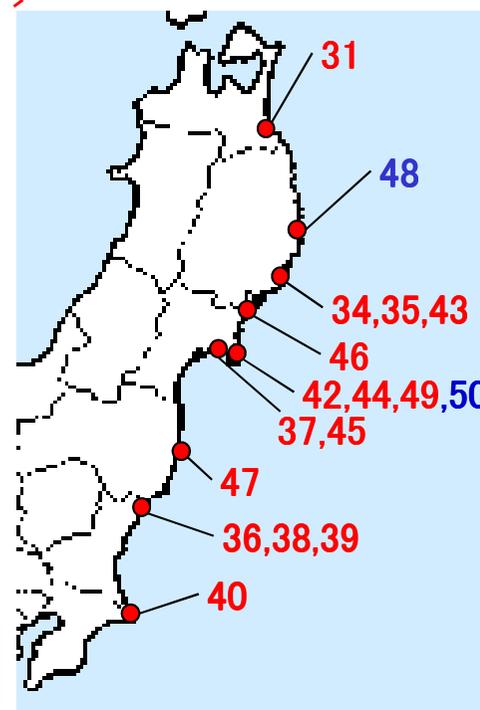
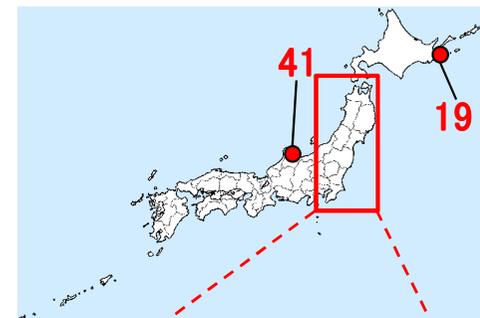


地域漁業復興プロジェクト進捗状況 —実証事業中・実証予定の計画— (平成29年5月1日現在)

【個別計画認定状況】(計19件)

- 19 全さんま・歯舞(さんま棒受網): LED化による燃油消費量の削減、さんまの高付加価値化【H25.8~H30.8 新船型】
- 31 八戸③(大中まき): 活魚、鮮魚、凍結魚の搬送可能な運搬船の導入等【H26.10~H29.9 新船型】
- 34 全さんま・大船渡③(さんま): 省エネ・省コスト漁船、船上箱詰め等【H26.8~H29.8 新船型】
- 35 全さんま・大船渡・綾里(さんま): 省エネ漁船、兼業漁業、船上箱詰め等【H26.8~H29.8 新船型】
- 36 北まき・大津②(大中まき): 運搬機能付き網船導入、船団縮小(3隻→2隻)等【 H27.4~H30.4 新船型 [自己負担により実施]、H27.5~H30.4 新船型】
- 37 石巻底びき(小底(貝桁)): 資源管理に配慮したグループ操業等【H26.9~H29.8 既存船型】
- 38 北まき・大津③(大中まき): 199トン型新型網船導入による船団縮小(3隻→2隻)、運搬船の共同利用等【H27.10~ H30.9 新船型】
- 39 北まき・大津④(大中まき): 運搬機能付き網船導入による船団縮小(3隻→2隻)等【 H28.1~H31.1 新船型】
- 40 北まき・波崎⑤(大中まき): 船団縮小による合理化、コスト削減等【H28.6~ H31.5 新船型】
- 41 全さんま(大型)・富山(さんま): 同一船型の導入によるコスト削減等、高付加価値化【H28.8~ H31.7 新船型】
- 42 全さんま(大型)・宮城(さんま): 同一船型の導入によるコスト削減等、高付加価値化【H28.8~H31.7 新船型】
- 43 全さんま(小型)・大船渡④(さんま): 同一船型の導入によるコスト削減等、高付加価値化【 H28.8~ H31.8 新船型】
- 44 全さんま(小型)・宮城(さんま): 同一船型の導入によるコスト削減等、高付加価値化【H28.8~ H31.8 新船型】
- 45 宮城県沖底②(沖底): 新船・既存船グループ操業等、高鮮度・高付加価値化等【H28.4~H31.3 既存船型、H29.2~H32.1 新船型】
- 46 気仙沼(近海まぐろ延縄②): 協業化、集団操業、省エネ運航等、高鮮度化等【H28.4~H31.4 既存船型】
- 47 北まき・小名浜③(大中まき): 船団縮小(3隻→2隻)、冷海水及び水氷による鮮度保持、分散水揚げ等【 H29.2~H32.1 新船型】
- 48 宮古・釜石(沖底③): 省エネ運航、高鮮度化等【新船型】
- 49 遠洋かつお・まぐろ(遠洋まぐろ延縄・女川③): 省エネ漁船、6次産業化、高鮮度化等【H29.4~H32.3 新船型】
- 50 全さんま(大型)・宮城②(さんま): 同一船型の導入によるコスト削減等、高付加価値化【新船型】



【全体計画(マスタープラン)認定状況】(計2件)

- 1 北部太平洋海区大中型まき網漁業復興計画【大中型まき網】
- 18 全国さんま棒受網漁業復興計画【さんま棒受網】

認定改革計画 50件: 実証事業中 19件(全体計画2件含む)、実証予定 2件、実証事業終了 29件

(注1)赤数字:実証中の計画、青数字:実証予定の計画

地域漁業復興プロジェクト進捗状況 —実証事業を終了した計画— (平成29年5月1日現在)

【個別計画終了状況】(計29件)

- 2 北まき・小名浜①(大中まき): 船団縮小(2ヶ統8隻→2ヶ統4隻)、漁獲物の高鮮度維持【H24.6~H27.5 新船型】
- 3 北まき・波崎①、③(大中まき): 船団縮小(4隻→3隻)、生産コストの削減【①: H24.4~H25.3 新船型、③: H24.2~H27.1 新船型】
- 4 北まき・小名浜②(大中まき): 船団縮小(4隻→3隻)、コンテナバックの導入【H24.6~H27.5 新船型】
- 5 八戸(大中まき): 船団縮小(4隻→3隻)、船凍品の開発【H24.5~H26.4 新船型】
- 6 全さんま・大船渡(さんま): コスト削減、高付加価値【H24.10~H26.9 新船型】
- 7 全さんま・気仙沼(さんま): 兼業型・改革型漁船の導入、フィッシュポンプの活用、高付加価値化【H24.9~H27.8 新船型】
- 8 気仙沼(近海まぐろ延縄①): 集団操業、水揚量の均衡化、ペア操業による省エネ等【H24.4~H27.3 既存船型】
- 9 遠洋まぐろ延縄・気仙沼: 船上ロイン加工、省エネ【H24.5~H27.4 既存船型】
- 10 遠洋かつお一本釣り・女川②: 一本釣りとまき網漁業によるハイブリッド化【H24.4~H27.3 新船型】
- 11 北まき・石巻(大中まき): 船団縮小(5隻→2隻)、省エネ・省コスト、高品質化【H25.2~H28.1 新船型】
- 12 亘理(小底): 小底と敷網漁業との兼業化【H25.1~H28.1 新船型】
- 13 宮古・釜石(沖底): 省エネ・省人・省力化、高鮮度出荷等【H24.7~H27.6 新船型】
- 14 遠洋まぐろ延縄・女川①: 省エネ、低燃費操業、新たな拠点整備【H25.1~H28.1 新船型】
- 15 八戸(遠洋底びき網): 欧州型漁船の導入、新漁場の利用等【H25.8~H28.8 新船型】
- 16 北まき・大津(大中まき): 船団縮小(3隻→2隻)、省エネ・省コスト【H25.4~H27.5 新船型】
- 17 北まき・波崎④(大中まき): 船団縮小(4隻→3隻)、新型揚網機の導入【H25.6~H28.6 新船型】[自己負担により実施]
- 20 宮城県沖底①(沖底): グループ操業による漁場の有効利用及び付加価値向上【H24.9~H27.8 既存船型】
- 21 新おおつち(定置): 船団縮小、周年操業、氷倉を備えた網船の導入【H24.9~H27.8 既存・新船型】
- 22 北まき・銚子(大中まき): 船団縮小(3隻→2隻)、小型鮮魚パックの導入等【H26.4~H29.3 新船・既存船型】
- 23 遠洋かつお一本釣り・東・中日本: グループ操業、燃油消費量の削減、魚艙の設備改良等【H25.3~H28.3 既存船型】
- 24 遠洋かつお一本釣り・気仙沼②: S-1製品の製造、燃油消費量の削減等【H25.2~H28.2 既存船型】
- 25 全国遠洋まぐろ・気仙沼: 年2航海操業、労働環境の改善、次世代型冷凍システムの導入等【H25.11~H28.11 新船型】
- 26 全さんま・大船渡②(さんま): LED漁灯の導入、漁獲物の船上箱詰め等【H25.8~H28.8 新船型】
- 27 石巻底びき(沖底・小底): 低コスト操業と高付加価値化【H25.2~H27.1 新船型】
- 28 千葉(中まき): 船団縮小(7隻→5隻)、船型の改革による省コスト化、コンテナバックの導入【H26.4~H29.3 新船型】
- 29 宮古・釜石②(沖底): 省エネ型新船、省人・省力化、高付加価値化【H26.4~H29.3 新船型】
- 30 三陸やまだ(定置): 構成船のスリム化によるコスト削減、高鮮度漁獲物の供給【H25.4~H28.4 新船型】
- 32 仙台湾(刺し網): マサバ刺し網から釣りへの転換、活魚出荷等【H25.10~H28.9 既存船型】
- 33 田野畑村(定置): 網規模縮小によるコスト削減、定員削減等【H26.4~H29.3 新船型】

※計画期間の下線はもうかる漁業からがんばる漁業に移行した計画(11件)

